

学校給食用牛乳等供給推進事業

【所要額 2,200（2,200）百万円】

対策のポイント

安全で品質の高い国産牛乳を年間を通じて学校給食用に安定的かつ効率的に供給するための支援を行います。

（19年度の状況）

- ・ 小学校、中学校等の92.3%に給食用牛乳を供給
- ・ 年間の供給日数は平均182日
- ・ 年間の総供給量約41万トンは飲用牛乳の生産量の11.0%

政策目標

全国学校給食用牛乳供給総量の維持及び牛乳の飲用習慣の定着

＜内容＞

1. 都道府県段階における学校給食用牛乳の供給推進を支援

学校給食用牛乳の供給を推進するため、①安心・安全の確保（保護者等による工場視察等）、②供給の合理化（保冷庫等の整備）、③安定的需要の確保（遠隔地等への輸送費掛増し経費の負担軽減）、④供給量の維持・拡大（大型容器による飲用奨励、牛乳飲用日数の増加促進）等を図るメニュー方式の事業を実施します。

2. 全国段階における学校給食用牛乳の定着のための活動を支援

学校給食用牛乳の定着を図るため、学校栄養士向け料理講習会の開催、牛乳の栄養機能性調査、ふれあい体験支援組織の育成等の活動を支援します。

補助率：定額、1／2以内、1／3以内
事業実施主体：乳業者及び生産者等が構成する組織、民間団体

[担当課：生産局畜産部牛乳乳製品課（03-3502-5987（直））]